

末広鉄腸 **新聞記者、小説家。新聞紙条例最初の犠牲者。政治小説で大衆の人気、衆院議員になるも一瞬。**

すえひろてつちょう

北齋没・・・1849 = 伊予国宇和島笹町で、藩の勘定役で詩文に秀でていた末広禎介の子に生まれる。

ペリー来航・1853 = 4歳 :

五ヶ国条約・1858 = **9歳** :

桜田門外変・1860 = 11歳 :

藩校明倫館に学び、

大政奉還・・・1867 = **18歳** :

明治維新・・・1868 = 19歳 :

戊辰戦争終・・・1869 = 20歳 : **その教授に登用された。**

初の日刊新聞1870 = 21歳 : 京都の陽明学者春日潜庵の門に入り、研鎮を積んだのち帰藩、明倫館教授に復帰する。

廃藩置県・・・1871 = 22歳 : **廃藩置県により県の聴訴課長に任じたが、上司と意見が合わず、職を辞して上京、**

学問のすすめ1872 = 23歳 :

明治6年政変 1873 = 24歳 :

佐賀の乱・・・1874 = 25歳 : **大蔵省に出仕するが、官界に不満を抱いて、**

初の民間工場1875 = 26歳 : **{曙新聞}に入社するや、この年に公布された新聞紙条例を批判したかどで、禁獄2ヵ月、罰金20円の罪を得、同条例最初の犠牲者となる。出獄後、成島柳北主宰の{朝野新聞}の編集長に迎えられ、**

三つの反乱・1876 = **27歳** : **法制官井上毅・尾崎三良を諷した記事で、成島柳北とともに再び下獄、禁獄8ヵ月、罰金150円となる。**

その後、民権運動の昂揚期に際して、

明治14年政変1881 = 32歳 : 馬場辰猪らとともに国友会を結成、ついで自由党の創設にも参画したが、間もなく脱退し、

岩倉具視没・・・1883 = 34歳 : 馬場らと独立党を結成する。

この頃から糖尿病をわずらい、転地療養をつづけるかたわら、政治小説の執筆を始め、

内閣発足・・・1885 = **36歳** :

帝国大学始・・・1886 = 37歳 : ***代表作「(政治小説)雪中梅」、**

国民之友始・・・1887 = 38歳 : **その続編「(政事小説)花間鷹」で、国会開設に向けて民権運動に身を投じて行く国野基と彼を支援する富永春との恋愛・結婚を中心に明治十年代後半の政治状況が写実的に描き、この二つの作品から得た印税で、**

帝国憲法発布1889 = 40歳 : **外遊に出、**

帝国議会始・・・1890 = 41歳 : ***帰国。「唾の旅行」を発表。第1回総選挙に大同倶楽部幹部として出馬、当選し立憲自由党を組織するが、**

足尾鉾毒始・・・1891 = 42歳 : **脱党。この去就が災して、**

大本教・・・1892 = 43歳 : **落選。シベリアを視察、**

日清戦争始・1894 = **45歳** : ***次の総選挙でも落選し、**

白馬会・・・1896 = 47歳 : 癌を病んで**没した。**